



がたがみやま

令和2年8月31日
京都市立鏡山小学校
(TEL581-2183)
(FAX581-2184)

7月実施 学校評価 結果報告

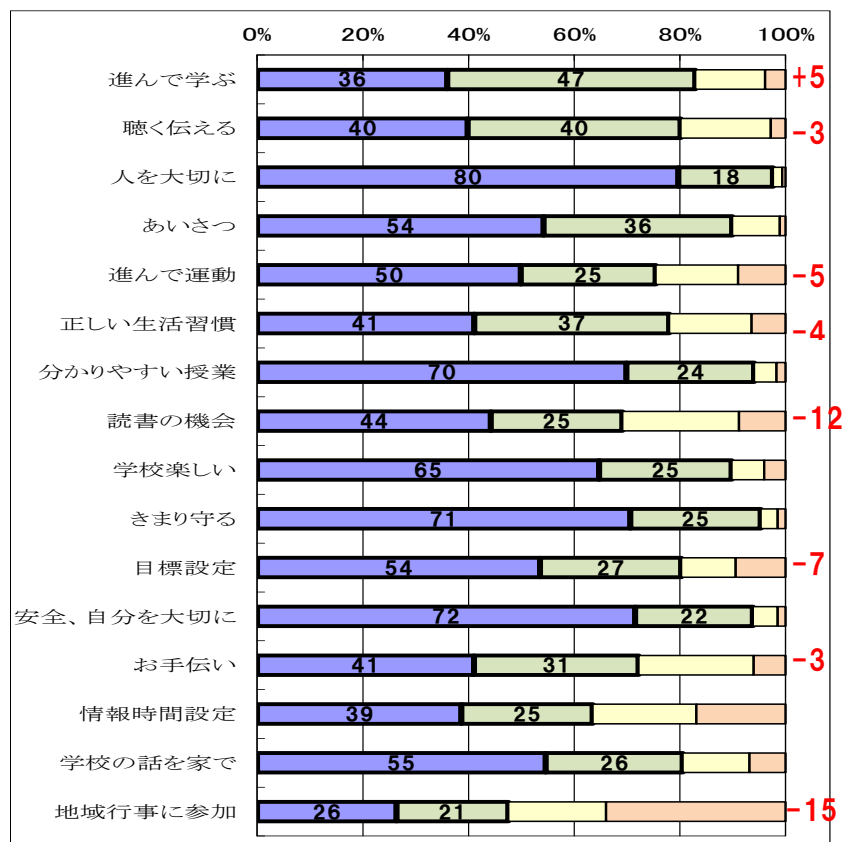
表の見方について

各項目左はし□ …できている（数字は％）

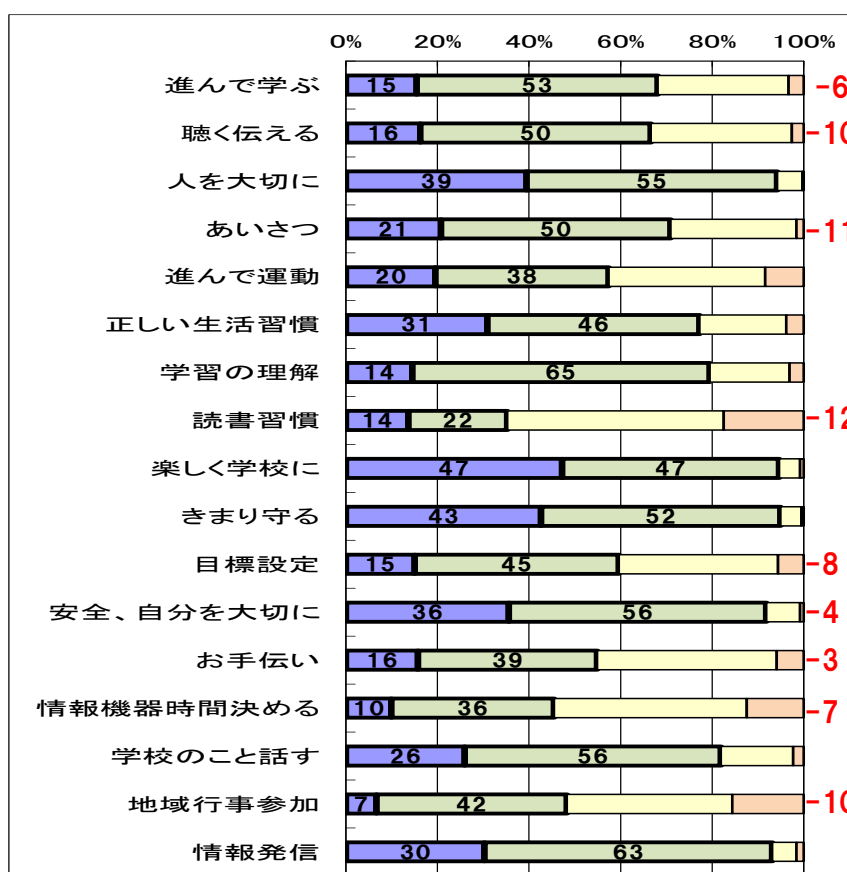
各項目左から2つ目□…だいたいできている（数字は％）

各項目右端数字…昨年7月比で＋－3％以上のもの

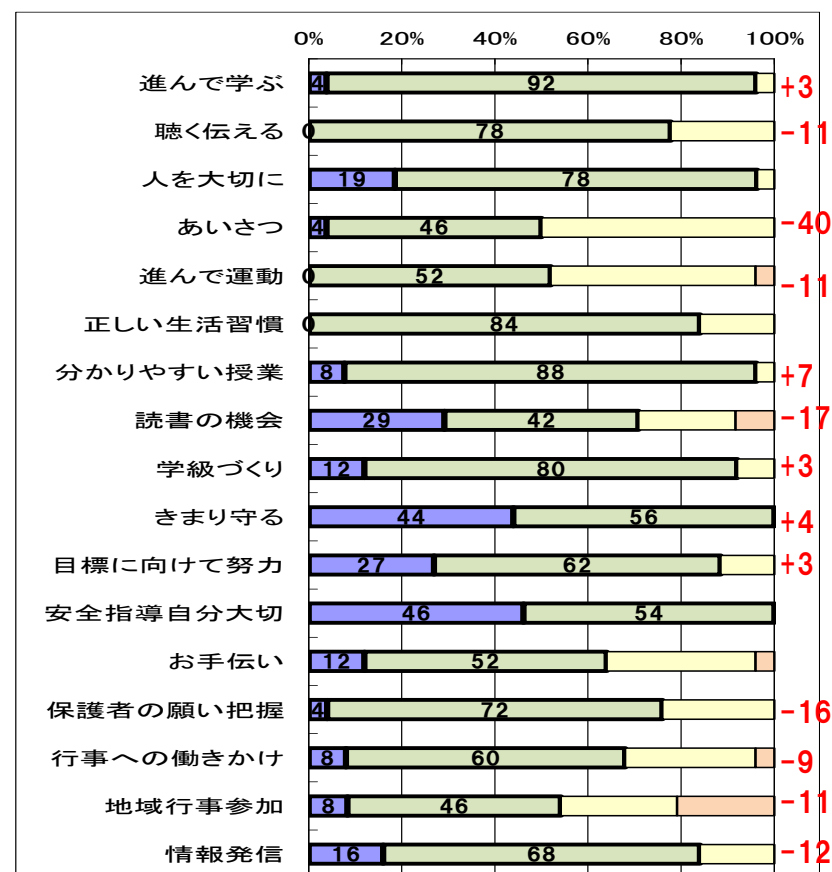
<児童>



<保護者>



<教職員>



アンケート結果より

<全体>

- 「きまりを守る」「自分や人を大切にする」の実現度が高く、規範意識や人権感覚が育っている。
- ▲ 「人の話を聴く、相手に伝える」「あいさつをする」「地域行事への参加」「目標を設定する」などの項目が下がっている。
- 「読書の習慣」「お手伝いをする」と「情報機器の時間を決める」の実現度が低い。

<児童>

- 休校期間が長く、学校で仲間と共に学ぶことができなかった影響から「進んで学ぶ」の実現度が上がり、学校再開後、学習意欲が高まっている。
- ▲ 朝の読書タイムがなくなり、「読書の機会」が減ったと感じている児童が多い。
- 今年度は多くの行事や授業が中止や先延ばしとなり、「目標の設定」ができないと感じている児童が多い。

<保護者>

- 「子どもが楽しく学校に通っている」の実現度が高く、休校明けも意欲的に学校に通えている。
- ▲ 家庭での「読書習慣」や「お手伝い」があまり定着していない。
- 「情報機器の時間設定」ができない家庭が多い。

<対策>

- ・学校では休校期間の授業の遅れを取り戻すために、今年度は朝の帯時間の10分間読書をなくしました。ただ、学校図書館に行く時間を確保したり、空いている時間に本を読むように声かけをしたりすることで、読書に親しめる環境は整えています。今後はさらなる読書活動の充実に向けて、国語の授業と読書を連携させたり、学校司書や山科図書館と連携したりして、本が身近にある環境を作っていきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも本に触れやすい環境を整えてもらえたらと思います。
- ・「情報機器の時間の設定」ができていない家庭も、例年と同様に多いようでした。新型コロナウイルスの影響で自宅で過ごす時間も増えていますが、親の目の届くところに子どもたちはいるのでしょうか。情報機器によるトラブルが低年齢化している今、学校でも情報教育を学習する時間だけでなく、「ケータイ教室」や「非行防止教室」を実施するなどして、トラブルに巻き込まれないよう指導したり、規範意識が育つように指導したりしています。子どもたちが保護者の管理のもとで情報機器を扱うよう、各家庭でもルール作りをお願いします。
- ・「あいさつ」の実現度が下がっていました。子どもはできていると思っているようですが、大人はあまりできていないと感じています。飛沫感染防止のため、「大きな声で元気よく」とはなかなか言えない昨今の状況ですが、お互いが気持ちよく過ごすためにも、自分たちを支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを伝えるためにもあいさつは大切です。まずは大人が見本を示すだけでなく、学校でも声かけを続けていきたいと思っています。